

厚生労働省北海道労働局発表
令和7年8月4日

担 当	厚生労働省
	北海道労働局労働基準部安全課
	安全課長 那須 真人
	主任安全専門官 星川 勉 電話：011-709-2311（内線 3551）

「建設工事着工期労働災害防止運動」の実施結果について ～ 墜落転落防止対策の法違反件数が倍増 ～

北海道労働局（局長 村松 達也）では、建設業における労働災害防止対策の徹底を図るため、建設工事現場が動き出す4月から6月の着工期に、「建設工事着工期労働災害防止運動」を展開し、各建設業関係団体及び各建設工事現場における安全衛生教育等の積極的な取組を要請するとともに、集中的な監督指導及び個別指導を行いました。

建設業における死亡労働災害は、令和7年6月末時点で8人と前年同期7人を上回っている状況です（資料1）。

北海労働局では、今般の実施結果も踏まえつつ、高所作業現場における法令遵守徹底を図り、引き続き建設業における死亡災害の防止に万全を期してまいります。

1 建設工事着工期労働災害防止運動実施結果

(1) 説明会等の実施状況

ア 局署主催	延べ開催回数	54回	延べ参加事業場数	1,829事業場
イ 団体主催	延べ開催回数	234回	延べ参加者数（概数）	19,500人
ウ パトロール	実施回数	22回	実施現場数	57現場

(2) 建設工事現場への指導状況及び指導内容

○監督指導現場数 354現場（対前年比+137現場 +63%）

土木工事 61現場（対前年比 +19現場 +45%）

建築工事 234現場（対前年比 +94現場 +67%）

その他工事 59現場（対前年比 +24現場 +69%）

○主な違反事項は①～④などでした。

①はしご、足場、開口部等の墜落・転落災害防止に関する指導	313件（対前年比+162件 +107.3%）
②元請、作業主任者、災害防止協議会等の安全衛生管理体制	162件（対前年比 +83件 +107.7%）
③建設機械の作業計画、接触防止、運転資格等に関する指導	36件（対前年比 +19件 +111.8%）
④感電防止に関する指導	9件（対前年比 + 3件 + 33.3%）

2 令和7年6月末時点の建設業の災害発生状況（速報値）

建設業における災害発生状況

令和7年6月末現在（新型コロナウイルスによるものを除く）

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	28	3,102	3,130	22	3,438	3,460	-330	-9.5	100.0	48	8,585	8,633
建設業	8	302	310	7	296	303	7	2.3	9.9	18	834	852
土木工事業	2	108	110	3	101	104	6	5.8	3.5	9	263	272
建築工事業	3	113	116	2	116	118	-2	-1.7	3.7	6	371	377
木造建築業	2	35	37	1	36	37			1.2	1	105	106
その他	1	46	47	1	43	44	3	6.8	1.5	2	95	97

3 資料

資料1 建設業における労働災害発生状況について（令和7年6月末速報値）

※資料は北海道労働局ホームページからダウンロードできます

北海道労働局HPトップページ＞各種法令・制度・手続き＞安全衛生関係

＞労働災害防止について＞建設業の労働災害防止対策について

＞◆令和7年度「建設工事着工期労働災害防止運動」

＞「建設工事着工期労働災害防止運動」実施結果（別添）

資料のURLは以下のとおりです。

https://site.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/anzen-kankei/saigai/kennsetsugyousaigaiboushi.html